

令和6年度 環境厚生常任委員会行政視察報告書

1 参加委員

(委員長) 花田 慎 (副委員長) 岡崎 進 (委員) 豊嶋 太一 (委員) 清野 匡志
(委員) 今井 理華 (委員) 新倉 真二 (委員) 山崎 広子

2 視察日時

令和6年7月19日(金曜日) 午前10時00分から午後12時00分

3 視察先

岡山県総社市

4 視察事項

- (1) 健康そうじゃ21について
- (2) 障がい者千五百人雇用について

5 視察概要

	(担当 岡崎 進)
視察先選定理由	市民一人ひとりが心身ともに健やかで豊かな人生が送れるよう、地域全体で支え合う健康づくりを進めていく指針となる「健康そうじゃ21」、障がい者の雇用促進と就労の安定化を深化・推進するための「障がい者千五百人雇用」について調査研究するため。
内 容	「健康そうじゃ21」に関して、“歩得”・“リン得”健康商品券事業として、歩くまたは自転車に乗ることでポイントを貯めて、商品券と健康を獲得できる事業が行われており、総社市では、他の健康に関する取組も併せて5年間で約3億円の医療費が削減されたと試算しているとのことだった。 「障がい者千五百人雇用」に関して、総社市は障がい者が働き、生きがいを感じながら安心して暮らすことの出来る地域社会の実現を目指しており、障がい者雇用に特化した千五百人雇用センターを設置し、障がい者の雇用のマッチングから生活の相談まで、マンツーマンでサポートを行うとともに、企業など就労先へのアフターケアにも関わっているとのことだった。
考 察	「健康そうじゃ21」に関して、本委員会としても、多少のコストがかかったとしても、中長期的な視点で医療費削減に貢献出来るのであれば、検討していく施策であると考えた。 「障がい者千五百人雇用」に関して、本委員会として、本市の障がい者雇用の促進に向けて、体制整備や障がい者支援の輪が市内に広がっている仕組み作

りに関して、ハローワークとの連携体制などを今後の参考としていきたいと考えた。

備 考

